

入門マクロ経済学Ⅰ

科目ナンバリング ECT-103
選択必修 2単位

富田 秀昭

1. 授業の概要(ねらい)

新聞・テレビ・インターネットなどを通じて、皆さんは日々たくさんの経済関連ニュースを目にしていることでしょう。本講義では、インフレーション、失業、経済成長など経済全体に関わるさまざまな事象を研究するマクロ経済学の考え方の基礎を学ぶことを目的とします。

「入門マクロ経済学Ⅰ」においては、現実の日本経済の動向を念頭に置きながら、GDPの諸概念、消費と貯蓄および設備投資の理論、マクロ経済における金融の役割などを取り上げた後、IS-LM分析と財政金融政策の効果について学びます。

2. 授業の到達目標

(1) GDPの概念、消費と貯蓄、設備投資の理論、金融の役割、およびIS-LM分析を用いた財政金融政策の効果など、マクロ経済学における基礎的概念を習得する。

(2) 習得した基礎的概念を用いて、マクロ経済に関する報道を正しく理解し、説明できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

(1) 期末試験60%をベースとして、それまでの講義で学んだ重要な概念や用語の理解を問う小テストないし課題提出40%(計4回、不定期)により総合的に評価します。

(2) 合格ラインにわずかに満たない場合で、出席状況のほか日頃の受講姿勢を勘案して合格とすることもあるので、まじめに取り組んでください。

4. 教科書・参考文献

教科書

福田慎一・照山博司 『マクロ経済学・入門(第5版)』 有斐閣、2016年

5. 準備学修の内容

(1) 講義前に教科書の関連部分を熟読し、疑問点などをチェックして講義に臨んでください。

(2) 原則として講義内容の要点を記載したレジュメを毎回配付するほか、必要に応じて配付する資料に基づいて、入門レベルのマクロ経済学で必要な論理的な考え方を丁寧に解説することを心掛けるつもりです。帰宅してから、その日の講義内容を見直すなど、復習に重点を置いて取り組んでください。

(3) 配付するレジュメは空欄穴埋め方式とするので、講義を聴きながら該当箇所に用語を記入していくこと(レジュメの完成版は次回講義で配付する)。

6. その他履修上の注意事項

(1) 入門レベルのマクロ経済学を体系立てて理解するため、「入門マクロ経済学Ⅱ」の連続履修を希望します。

(2) 講義中の私語など、他の受講者に迷惑を掛ける行為があった場合には、成績評価に際して大幅減点、あるいは不合格とすることがあります。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | <ガイダンス>(オンライン授業)
授業目的、授業方法、成績評価、準備学修および授業内容について |
| 【第2回】 | <講義> GDPとは何だろうか?(1):GDPに関する諸概念 |
| 【第3回】 | <講義> GDPとは何だろうか?(2):日本における景気変動 |
| 【第4回】 | <講義> 消費と貯蓄はどのようにして決まるか?:消費と貯蓄の理論 |
| 【第5回】 | <講義> 設備投資と在庫投資(1):設備投資とは? |
| 【第6回】 | <講義> 設備投資と在庫投資(2):主要な投資理論 |
| 【第7回】 | <講義> 金融と株価(1):マクロ経済における資金の流れ、株価の決定 |
| 【第8回】 | <講義> 金融と株価(2):投資理論と金融の役割 |
| 【第9回】 | <講義>(オンライン授業) 貨幣の需要と供給(1):貨幣の役割 |
| 【第10回】 | <講義> 貨幣の需要と供給(2):貨幣需要 |
| 【第11回】 | <講義> 貨幣の需要と供給(3):貨幣供給、利子率のコントロール |
| 【第12回】 | <講義> 貨幣乗数とIS-LM分析(1):有効需要の原理 |
| 【第13回】 | <講義> 貨幣乗数とIS-LM分析(2):乗数理論、IS曲線 |
| 【第14回】 | <講義> 貨幣乗数とIS-LM分析(3):LM曲線、IS-LM分析 |
| 【第15回】 | <まとめ>
1)講義の総括
2)期末試験 |